

放っておくのも2人で放っておけば、何となく後ろめたさもなくなる。

最初は自分の目も息子1人にしかいていなかったし、彼も見ているのは私1人だけとかだったのが、やはりあちらこちらに目がいくようになった。3番目になったらとても楽で、5人家族になってよかった。

(3) 育児に関する相談・両親

- (D) 実家の母に相談をした。大体何でも駆け込み寺で。夫のほうの実家も近かったのは良かった。
- (C) 両親は札幌に両方住んでいて、本当に夏休みや冬休みなどに帰ると会える人たちという感じ。下の子が生まれた時も私の母は手伝いに来てくれたので、会っていたが、おじいちゃんは半年たつまで会わなかった。本当に核家族という感じで、もし病気などになったらというのをやはりすごく不安がある。

(4) 育児に関する相談・育児雑誌

- (A) 育児雑誌は1人目の時によく読んでおり、医学情報などはどんな病気があるのかを知るという点で参考になった。
- (B) 自分の場合は、逆にいろいろな病気があることを知ることで心配になってしまい読めなくなった。育児の体験談なども、本当にそうなのかなどと思ってしまいあまり読みたいとは思わなかった。
- (C) 子どもはそれぞれ個性があって違っているからあてはまらない。自分の場合も一人目の子どもと二人目の子どもでは違っていた。

(5) 育児に関する相談・専門家

- (B) 産後一ヶ月の保健師による訪問相談の時に、ミルクのあげかたでおこられて、非常に落ち込んだ経験がある。職場の先輩ママに聞いて気が楽になったが、同じような経験をしている人が他にもいる。二人目の時は訪問しなくて良いと断るケースも多いと聞いている。産後の気分が重い時期でもあったので、もう少しやさしく言って欲しかった。
- (A) 何のために訪問してくれるのかわからない。
- (D) 他の子どもと比べる機会がない人や話をする機会がない人にとっては良いのかもしれない。また、自分では気が付かないことに気がつくこともあるので、全くなくなってしまうというのも困るであろう。
大丈夫ですよ、でもこうやったほうが良いですよ、というような言い方で、あまり責めるような言い方はしないで欲しい。

(6) 小児科の利用状況について

- (D) 小児科は育児相談とかを相談するということではないと考えている。病気になったといった緊急の時に利用する場所。待っている人がいたり、看護師さんが動いていたりすると、聞こうと思っていても聞けずに終わってしまったり、違う話で終わってしまう。下の子が病気になっても、上の子を預かってくれるところがないので、そういった場所が欲しい。
- (A) 軽い症状でもすぐに医療機関に行くようにしている。いつも利用する小児科はすごく混んでいるのであるが、小児科医が話を聞いてくれるので利用している。他に夜遅くまでやっている医療機関も利用しているが、こちらは薬をもらいに行くだけの医療機関。
- (B) 子どもが病気がちであるので、5～6軒医療機関をまわったが良いところなかった。先日もインフルエンザにかかった時に規模の大きな病院に行ったが5～6時間待ちという状態であった。実家の両親に順番待ちをしてもらったので、比較的負担が軽くすんだが、診察に待ち、薬局で待ち、会計で待ちと3回待つことになることも大変。
- (A) 忙しい病院だと、看護師も殺気立っていて、話しかけるどころではない。
- (C) 病気の子どもを見てもらうため、元気な子どもも連れて行くと、その子まで病気になってしまいそうでこわい。
- (B) 小児科専門のクリニックが欲しい。また、診察時間を延ばして欲しい。8時まで診療してもらえれば十分。
- (C) 近くに頼りにできる小児科医がいるので、その点では恵まれている。しかし、夕方から夜にかけて熱が出ることが多いので、その時にみてもらえると有難い。24時間電話相談を利用したこともあったが、逆におこられてしまった。

5. 小児科医への相談

(1) 予防接種について

- (B) インフルエンザの予防接種について、予防接種で亡くなったという話を聞いたことがある。予防接種は役に立つのか？もし死ぬ可能性があるのであれば、むしろ予防接種を受けない方が良いのではないか？
- (小児科医) まず、予防接種について、はしかを例に話をさせてもらう。はしかはそれほど重い病気ではないと思われている面があるが、日本では年間100人がはしかで亡くなっていると言われている。患者数は年間20万人。
- 一方、アメリカでは予防接種が非常に普及しており、年間の患者数は全米で100人。しかも、海外から持ち込んだケースがほとんどだといわれている。予防接種の接種率が95%を超えないとその病気は亡くならないといわれているが、日本でははしかの予防接種は80%程度に過ぎない。
- インフルエンザについては、これまでインフルエンザか否かの判断がすぐにはできなかった。2年程前から検査キットが使われるようになって、やっとインフルエンザか否かのデータがそろうようになった。

乳幼児については依然としてデータが足りない状態だが、高齢者については、施設入所者が多いこともあってデータが収集されており、予防接種によって死亡率が低下したということが統計的に証明されている。

どのタイプのインフルエンザが流行るかという点についても、現在では常に全世界の状況がわかるような体制になっており、それに基づいて予防接種のタイプを決めている。以前はあまりあたらないと言われていたが、現在はあたるようになっている。

小児科医によって考えは違うかもしれないが、私は多少、鼻水が出ているような状態であっても、予防接種を受けるように勧めている。受けないことによるリスクと受けることによるメリットを考えると、予防接種は受けるべきだと思う。

(2) 小児科の利用方法等について

(B) 小児科医の先生が、子育てなども含めて、お母さん達のお話を聞いてくださる時間を設けたりしたら大変ではないか。

(小児科医) これからの小児科医は、治療だけではなく、やはり子育て支援、生活の支援をすることが重要である。

開業医でも、はやっているところは、例えば1日の平均が150人だったら、普通話はやできない。そういうところは医者だけでなくスタッフが、例えば看護師さんが受けてくれて、熱さましの飲ませ方なり、おうちでのケアの仕方なりをきちっとトレーニングしてあって、話を聞いてくれる。それで患者さんは満足する。

うちの場合は予約制をとっている。そうすれば、待合室も広くとらなければいけないということもないし、感染のチャンスも少なくなる。予約の方法は電話の自動応答によるものなので、24時間いつでも予約できる。この春からはインターネットでの予約にも対応できる予定になっている。

(D) ずっと同じ病気で同じ医者にかかっているとたりすると、医者側でも先入観ができてしまうことがあるのではないか。たまには違う医者に見てもらったほうが、新しい病気が見つかるというようなことはあるのか。

(小児科医) やはり普段診てもらっている先生に診てもらったほうがいい。小児科でわれわれの現場の仕事というのは、昔は病気を診る時代だったけれども、今は健診や予防接種など、健康な子供も診る。あるいは、育児相談を受けるようなことも仕事になってきたから、今いろいろな意味で3分の1ぐらいの仕事は、健康を診るほうになっている。

アメリカなどは半分ぐらいになっている。1歳までは1カ月、2カ月、3カ月、4カ月と、1歳を過ぎから毎年2歳、3歳、4歳とお誕生健診をする。ヘルスチェックをしている。

そういう意味で、私のところも健康な子供が入る部屋と入口は別になっている。

健診や予防接種に行ったのに病気の子と一緒に待っていて、移されてしまったなどということがないように、最近の小児科はなっている。内科系だとそういう概念がなかったりする。あるいはいわば隔離というかたちで、水ぼうそうの子どもがいたりすると、普通は一緒に待合室で待たせていたら困るので、隔離室が別にある。小児科単科だとそういう工夫はしてある場合がある。

(3) インフォームドコンセントについて

(B) 入院の判断をどうしますかと言われてしまうことがあり、困ってしまう。調子がおかしくて近所の病院に行っていた。しかし、微熱が続いたので大きな病院に連れていったら、肺に影がある。肺炎だったのではないかと。入院しますか、どうしますかと言われた。

食欲もあって、全く元気だったので、帰りますと言って帰ってきた。その後、すっかり元気だったのでよかったが、判断を求められるような言われ方をされて、困っているお母さんなどを見かける。

(小児科医) それは医者の説明のし方が悪かったかもしれない。本来は医者が判断しなければならないこともある。今、医療の世界も、情報開示やインフォームド・コンセントできちんと説明をして、同意を得るというのを教育されているから、自分たちのきちとした判断を示すことと、同意を得ることが混同される場合がある。やはりこれはどうしても入院をして、点滴をしなければだめですよと言わなくてはいけないこともある。帰ると言っても、それは危険ですよ言い張ったり。

どうしますかというのは、ちょうどがんの手術で、放射線の治療法と化学療法とありますけれども、どれにしますか。こちらだと30%の生存、これは50%、これは65%です、といったような場合がありうる。でも、それを示すときにも、私だったら自分だったらこの65%のものをつらいけれども、やりたいと思います。でも、こういうほかの方法もありますと言うけれども、その三つでどれにしましょう。それはあなたが決めることですだけでは、患者側はやはり納得できないと思う。お母さんが判断してくださいと言うのだから、それだけ聞くと、どちらでもいいというのは入院しなくていいことになってしまう。入院しますか、どうしますかと言うのは、医療側の問題で、その説明と同意のインフォームド・コンセントを履き違えてしまっていたのかもしれない。

以上

お子さん・お母さんと NPO のメンバーとのひととき（グループインタビュー後）



NPO のメンバーと専門家（小児科医）



厚生労働科学研究費補助金（子ども家庭総合研究事業）
分担研究報告書

子育て時の相談ニーズに関する研究（小児科外来編）

分担研究者 五十嵐隆 東京大学大学院医学系研究科小児医学講座教授教授
（協力研究者 山中龍宏 緑園こどもクリニック(東大病院非常勤講師)）

研究要旨

FG（フォーカスグループ）法により、子育ての経験に関する相談ニーズ、子どもの健康・医療に関する相談ニーズの双方が把握された。

A. 研究目的

近年の核家族化の進行や地域コミュニティの機能低下などに伴い、子育て時の相談ニーズなどは高まっている。また、女性の就業率の向上や生活スタイルの多様化（家庭でのメール普及なども含む）に伴い、従来の画一的なサービスだけでは対応が困難となってきた。

一方、少子化に伴い小児科医師及び施設（かかりつけ医を含む）が減少している中、両親からの相談対応など、現場の保健医療福祉スタッフに多大な負担が生じている可能性がある。

このような背景に基づき、家族化や地域のコミュニティ機能の低下、女性の就業率の向上、生活スタイルの多様化といった環境下における子育て時の両親のニーズを把握し、賢い両親の育成及び子育て時の相談体制のあり方（民間資源の活用を含む）を検討し、同時に小児科医など小児科スタッフの支援に資する資料とすることを目的とした。

B. 研究方法

本研究班分担研究者日暮の報告にあるように、主に子育ての経験に関する相談ニーズ、子どもの健康・医療に関する相談ニーズを把握するために、FG（フォーカスグループ）法を採用し、グループインタビュー形式にて調査を実

施した。調査の実施にあたっては、調査実施マニュアルを作成した。また、研究班メンバー及び実施するNPO関係者で、調査の趣旨や実施方法などについての意識や情報を共有するため、調査実施計画書を作成し、対象者を募集するための募集用紙を作成した。なお、今回のグループインタビュー実施後に、このような内容の相談事業に関するご意見・ご要望をアンケート調査として実施し、結果を整理した。

調査対象については、募集のチャネルによる違いを重視し、企業の健康保険組合からの呼びかけ（主に一般のご両親）と小児科医からの呼びかけ（外来受診の子どものご両親）の2系統にすることとした。なお、ここでは後者を対象とした結果である。

（倫理面への配慮）

ニーズ把握のための調査結果については、氏名を外すとともに、個別の集計などは行わないこととした。

C. 研究結果

グループインタビュー形式により、ニーズの把握を行った。

なお、参加者に対しては、事前に次の項目に関するアンケート調査を実施し、当日の進め方の参考とした。

- 同居しているご家族
- 現在の住所での居住年数

- 日頃、お子様の具合が悪い時に、まず診療を受けるのはどのような医療機関
- お子様の性別、年齢、最近1ヶ月間の通院・入院経験、過去の大きな病気
- 子育てに関して、日頃感じていらっしゃる不安や専門家に相談したい内容

調査結果の内容及び事後アンケート結果の内容については、次頁以降を参照。

グループインタビューでは、主な内容として次の項目が挙げられた。

- 子育ての不安（参加者相互の共有）
 - 子育ての楽しさ（参加者相互の共有）
 - 育児に関する相談
 - 小児科医の利用（利用医療機関、相談や情報収集の状況）
 - 受診の判断
 - 抗生物質
 - 小児科医の探し方 など
- また、事後アンケートでは、
- 小児科医とゆっくり話ができた、また、小児科医からのアドバイスが参考になった
 - 他の地域の医療機関や関連サービスの状況が聞けて、自分の地域の状況が客観的に把握できた
 - ほかの環境（専業主婦が、働いているお母さんと話す機会はなかなかない）のお母さん達と話す機会がもててよかった
 - グループインタビューの間、子どもを預け

られたのがよかった

- 次回参加できるのであれば、病気や子育てなどについてより具体的な話をテーマにして意見交換・相談したい
- 今回はインタビューだったので、対司会者であったが、参加者同士やNPOの方々ともっと意見交換できればよかった

D. 考察

本調査の実施により、子育て全般の相談及び健康・医療に関する専門的な相談の双方のニーズが把握ができただけでなく、NPOのコーディネートによる新たな相談事業の可能性が提示されたことは意義が大きいと考えられる。

E. 結論

FG（フォーカスグループ）法により、子育ての経験に関する相談ニーズ、子どもの健康・医療に関する相談ニーズの双方が把握された。

F. 健康危険情報

特に関連性を有しない。

G. 研究発表

なし。

H. 知的財産権の出願・登録状況

なし。

第2回グループインタビュー 概要

1. 日時 平成15年3月8日(土) 14時00分～16時00分
2. 場所 こどもの城 9階 901会議室
3. 出席者
司会 吉池由美子(NPO法人デ・イカル・ブリッジ)
参加者 A:専業主婦(子ども:6歳女兒)
B:在宅勤務(子ども:10歳男児、4歳男児)
C:専業主婦(子ども:2歳女兒)
D:専業主婦(子ども:5歳女兒、2歳女兒)
E:会社員(同上:夫婦)
小児科医 五十嵐隆(分担研究者)
分担研究者 古井祐司、NPO法人デ・イカル・ブリッジ、三菱総合研究所

4. グループインタビュー要旨

(1) 子育ての不安について

- (A) 1歳のときから尿路感染症で5回入院している。最近アレルギー体質から肺炎をおこしており、心配。また、夫が商社勤務であるため、海外赴任になるという話が多く、今のところ実際に海外に行くことにはなっていないが、子連れでの海外生活は不安が多い。
- (D) 今考えるとどうって事はないのかもしれないが、上の子が1人だった時に母親べったりで不安だった。結局、時がたてば解決したけれど。
- (E) 父母の役割分担というのが難しい。また、母親が神経質になっているときに何らかの手助けをしてくれるところが欲しい。

(2) 子育ての楽しさについて

- (C) ありきたりであるが、子どもの成長を見るのが楽しい。自分の子どもができるまでは、友人が今日歩いたの、と知っているのを聞き流していたが、自分の子どもができて、昨日は5歩だったのが、今日は10歩になり、というのをみていると幸せを感じる。
- (B) 兄弟で遊んでいる姿がうれしい。二人で寝ている時に寝相まで一緒なので、見ていてほほえましく感じる。
- (D) 子どもが1歳～2歳だったときに悩んでいたのがウソのように、今は毎日が楽しい。5歳と2歳の姉妹なので一番良い時期なのだろうと思う。
- (A) 子どもの寝顔を見ると幸せに思う。
- (E) 仕事の関係で毎日会うことができないので、週末に会うたびに成長している姿を見るのが楽しい。

(3) 育児に関する相談

- (B) 子どもが赤ちゃんの頃は実家の母親に相談していた。その後、幼稚園に入るくらいになると、2人目、3人目の子どもの母親に相談をするようになった。
- (C) まずは夫婦で相談するようにしている。それから同じ社宅に住んでいる同世代の人たちに相談をする。親にはあまり相談をしない。
- (D) 赤ちゃんの時は親に相談をした。人見知りや激しくて悩んでいた頃、子どもが1歳から2歳だった頃は、保健所の巡回相談が近くの地区センターで週に1回あったので、そこで相談をした。また、NPOがやっている乳幼児を対象としたサロンに参加して、同じような悩みを持つ人たちと悩みを共有していた。2人目の時はあまり悩んでいない。
- (A) 子育ての相談であれば、まだしやすいのだが、妊娠中の不安なことは聞きにくいので、親に相談をしていた。
病気の時に尿路感染症だったことが1回目の入院の時にはわからなかった、という経験から医者への不信感があり、自分でやるしかないというような気がしていた。

(4) 小児科の利用状況について

(利用医療機関の状況)

- (E) まわりの母親は病院好きというような感じの人が多。地域の小児科医で非常に営業熱心という感じのところがあるせいかもしれないが、とても混んでいるので、小児科を増やして欲しい。
- (C) 医者にはあまり行かないし、行きたくないと思っている。保育所で毎月健康診断をしているのであるが、耳垢があるから耳鼻科を受診してくださいと言われた。さすがにその程度だと、大丈夫だろうと思って受診していないが、受診をするべきなのか、するべきではないのか、その判断が難しい。
- (A) 小児科医は少ないと思う。特にうちのような転勤族だと、地域のどこに小児科があるのかという情報が少ない。どこに聞けばよいのだろうと思う。
- (B) どの医者が良いですか？と聞かれることがあるのだが、その判断は難しい。医者との相性もあるし、診療の仕方の好き好きもある。
- (D) 先程話が出た地域の小児科医が営業熱心で、幼稚園にもやってきたりしている。非常に混んでいるので、流れ作業的なところがあり、良いのかどうなのかわからないが、なれているのでそこに連れて行く。
- (C) 今行っている医者はあまり薬を使わないので、あっている。日曜日の午前中もやっているの、助かっている。
- (A) 現在、見てもらっている小児科医はいろいろな相談に乗ってくれるので、できればこのまま同じ小児科医に見てもらいたいと思っているが、大きな病院の医者であるので、初診料が高く、これから区の助成を受けられなくなるので、それが心配。
- (B) とりあえずいろいろな小児科の診察券だけをとっておく、ということをしている人は多い。かるい風邪のようなときにカルテだけを作りに行く。そうしておけば、緊急の時に診てもらいやすい。

(相談や情報収集の状況)

- (B) 耳鼻科へ行くのか小児科へ行くのかで迷う。事前にどこへ受診をすればよいの

- か相談できるようなところがあるとよい。
- (E) 医者に見てもらわなければならないか否かも判断が難しい。それも含めて受診の相談ができるとよい。また、普段、ちょっと心配なことも別に相談できるようなゆとりが欲しい。簡単に使える相談所のようなものでもよい。
- (C) ちょっとしたことを電話相談をしても、一般的な回答しかもらえない。もっと具体的な回答をしてくれるような電話相談が欲しい。例えば、小児科に受診すべきか否かとか、救急にいつでもすぐに診てもらわなければならないかとか。また、小児科医がチームになって子どもを見てくれて、救急の時でも誰かが対応してくれるというようなシステムが欲しい。
- (B) また、救急病院には小児科医にもいてもらいたい。どこの病院であれば小児科医に見てもらえるのかという情報も欲しい。
- (A) 区報に当番医が載っている。ただ、普通の開業医は飛込みでは行き難いので、結局大きな病院に行っている。開業医の場合、今までに受診をしたことがありますか、みたいなことを聞かれるので、ないと答えたと断られることもある。ホームドクターを作るようにという話をいろいろなところで聞くが、それを受け止めるシステムができていないように感じる。作りようがない状態。

5. 小児科医への相談

(1) 受診の判断について

- (E) 受診をすべきか否か、受診するならば小児科なのか、耳鼻科なのかといった判断がむずかしい。
- (小児科医) 受診をすべきか否かという点については、心配であれば受診すればよい。だんだんと親として、受診すべきかどうかの判断はできるようになるので、はじめのうちは心配であれば受診すればよいのではないか。
小児科に行くべきか、耳鼻科に行くべきかということについては、中耳炎程度であれば、どちらでも良い。ただ、やはり、まず小児科に来て欲しいと思っている。
現在の小児科医の仕事というのは、昔の小児科医とは随分違っていて、病気の治療だけではなく、予防医学、つまり健康な子どもが対象で、育児相談などを含めたことが仕事になっている。アメリカとかではもっと顕著で、半分以上はそういった仕事。日本もそうになっていくと思われる。

(2) 抗生物質について

- (D) 抗生物質は菌が増えるのを押さえると聞いたことがある。菌を殺すのではないのか。また、普通の風邪等でも抗生物質を処方される時があるが、本当に必要なのか。
- (小児科医) 抗生物質には二種類ある。制菌的なものは、体の中で菌が増えないように働く。細胞分裂できないと、菌は数時間で死んでいくので、結果として体内の菌がなくなるという考え方。もうひとつは、殺菌的なもの。こちらはより直接的に働いて、菌の中に入り込んで菌を壊す働きをもっている。
抗生物質は上記のような二種類があるが、中には百日咳のようにマクロライド系という特定の抗生物質しか効かない病気もある。一概に、制菌的なものの方が弱くて、殺菌的なものの方が強いというものでもない。

抗生物質が本当に必要なのかという点については、確かに普通の風邪のような症状で出す必要があるのかという問題はある。しかし、ウイルス感染ではなく、細菌感染の疾病については非常に有効であり、その有効性は認められている。小さいうち、保育所や幼稚園に入るまでは抗生物質を使うのは仕方がないと思う。集団生活に入ると、保育所とか幼稚園というのは言わば感染症のルツボみたいなものだから、入った当初は4月風邪とか5月風邪とか体調を崩す。しかし、その中で抵抗力がついてくるので、集団生活を始めた後も、自動的に抗生物質を処方するのはどうなのかと思う。

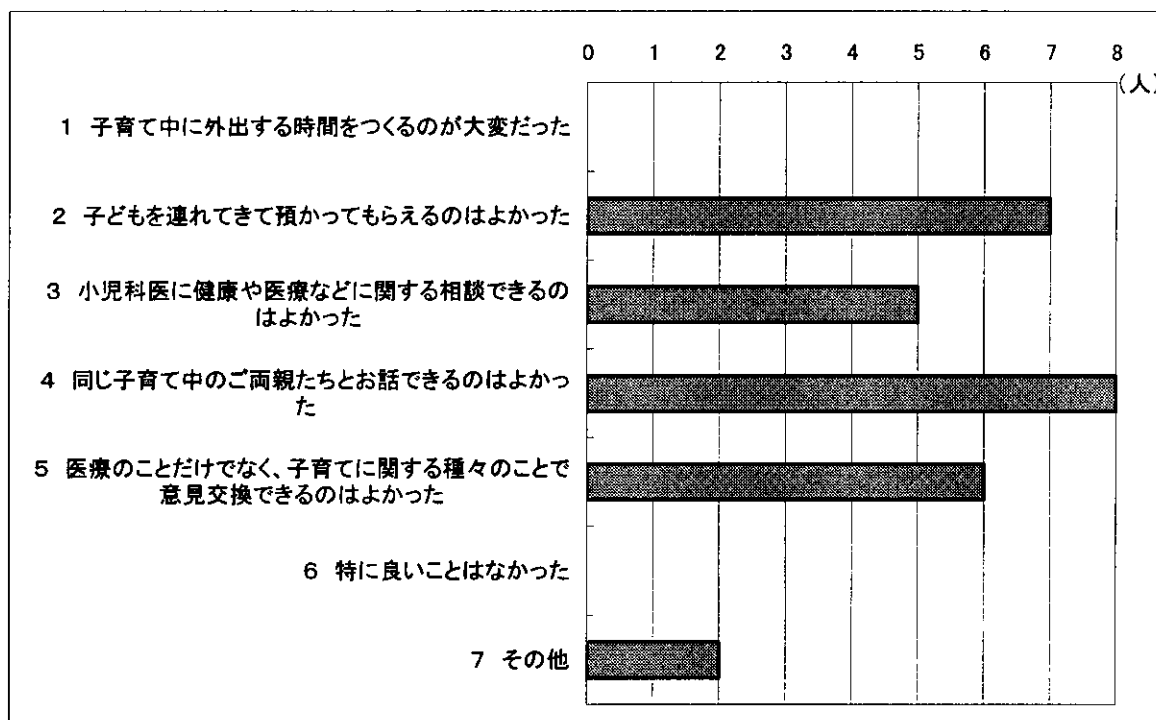
(3) 小児科医の探し方について

- (A) 転勤族なので、引っ越した後に小児科医をどうやって探したらよいかかわからない。自治体や医師会のリストはあるだろうが、どの医者がよいかというようなプラスアルファの情報が欲しい。
- (小児科医) ひとつの判断基準として、外来小児科学会というものがある。外来小児科学会は実際に開業している小児科医を中心に作られたもので、医師会にちかい。アメリカでは昔から存在していたが、最近日本でも組織化されてきた。この学会に加入しているということは、それなりに意識の高い小児科医だと思うので、それをひとつの判断基準にできるのではないか。
- リストは加入している小児科医であればもっているので、転勤等が決まった時に相談をすれば教えてもらえるのではないか。

以上

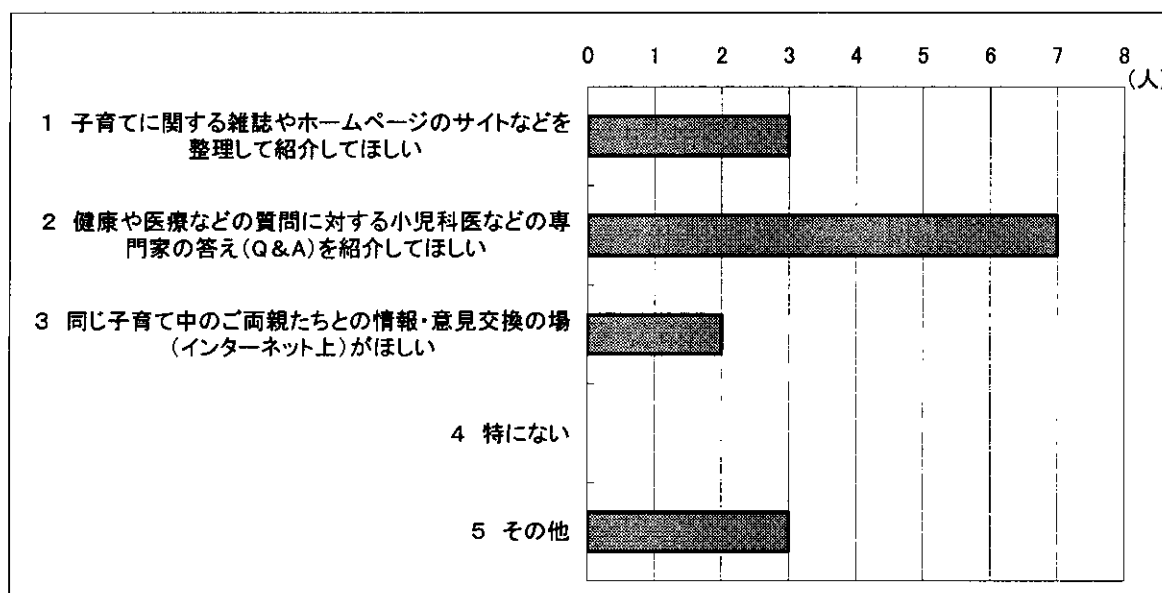
[事後アンケート結果の概要]

問 本日の会への参加に関しての感想



* その他: 楽しかった1件、他のお母さんの意見が聞けて役に立った1件

問 今後、小児医療や子育て支援を専門とする NPO が、子育てや小児医療に関する情報提供などを検討しております。どのような情報があったら利用したいと思われますか。



* その他: 地域の情報を提供してほしい1件、病気ほどではなく心配なことをメールで相談できるしくみ1件、地域の医療機関、子どもが利用しやすい施設やお店、公園、サークル等の情報1件

子育てに関する意見交換・相談会へのご参加ありがとうございました。

本日お忙しい中ご参加ありがとうございました。

皆様のご意見などを参考に、今後も子育てに有益となる相談や情報提供などについて検討・実施していきたいと存じます。

最後に、ご参加した感想などをご回答いただけますようご協力をよろしくお願いいたします。

問1 本日の意見交換・相談会についての感想を自由にご記入ください

①意見交換（前半1時間）について 働いてはる母と話をする機会にあまりなかった 楽しかった です。
②小児科医を交えた相談会（後半30分）について お予防接種をうけます。
③開催場所・ベビーシッターサービス等について かえりてよかった。是非おやつがよかったです。 お便利なお店もよかった。

問2 本日の会への参加についての感想（あてはまる番号すべてに○をつけてください）

1 子育て中に外出する時間をつくるのが大変だった
② 子どもを連れてきて預かってもらえるのはよかった（けいあす44が満足した。）
③ 小児科医に健康や医療などに関する相談できるのはよかった
④ 同じ子育て中のご両親たちとお話できるのはよかった
⑤ 医療のことだけでなく、子育てに関する種々のことで意見交換できるのはよかった
6 特に良いことはなかった
7 その他（)

問3 今後、小児医療や子育て支援を専門とするNPOが、子育てや小児医療に関する情報提供などを検討しております。どのような情報があったら利用したいと思われますか。（あてはまる番号すべてに○をつけてください）

① 子育てに関する雑誌やホームページのサイトなどを整理して紹介してほしい
② 健康や医療などの質問に対する小児科医などの専門家の答え（Q&A）を紹介してほしい
4 同じ子育て中のご両親たちとの情報・意見交換の場（インターネット上）がほしい
5 特にない
6 その他（)

今後、本日参加させていただいたNPOでは、月に1回程度、子育てや小児医療に関する情報提供を検討しております。差し支えなければ、メールアドレスをお教えいただければ幸いです。

参加者御氏名

メールのアドレス

※後日FAXでご返送いただいても構いません

FAX返送先 03-3277-3469 三菱総合研究所 進藤、吉池

子育てに関する意見交換・相談会へのご参加ありがとうございました。

本日お忙しい中ご参加ありがとうございました。

皆様のご意見などを参考に、今後も子育てに有益となる相談や情報提供などについて検討・実施していきたいと存じます。

最後に、ご参加した感想などをご回答いただけますようご協力をよろしくお願いいたします。

問1 本日の意見交換・相談会に関しての感想を自由にご記入ください

①意見交換（前半1時間）について ● 20分以内で、言い交わすのが、子供、遊ぶ場所（公園） 病院近辺、動物園等）の、安心感になりやす、 特に病院のスタッフの、対応は、いいと思います。
②小児科医を交えた相談会（後半30分）について 色々話しを聞いて、有難かった。
③開催場所・ベビーシッターサービス等について とても有難かった。お月の子も、お喜びと、お話しした。

問2 本日の会への参加に関しての感想（あてはまる番号すべてに○をつけてください）

① 子育て中に外出する時間をつくるのが大変だった
② 子どもを連れてきて預かってもらえるのはよかった
③ 小児科医に健康や医療などに関する相談できるのはよかった
④ 同じ子育て中のご両親たちとお話できるのはよかった
⑤ 医療のことだけでなく、子育てに関する種々のことで意見交換できるのはよかった
⑥ 特に良いことはなかった
⑦ その他（)

問3 今後、小児医療や子育て支援を専門とするNPOが、子育てや小児医療に関する情報提供などを検討しております。どのような情報があったら利用したいと思われませんか。（あてはまる番号すべてに○をつけてください）

① 子育てに関する雑誌やホームページのサイトなどを整理して紹介してほしい
② 健康や医療などの質問に対する小児科医などの専門家の答え（Q&A）を紹介してほしい
④ 同じ子育て中のご両親たちとの情報・意見交換の場（インターネット上）がほしい
⑤ 特にない
⑥ その他（)

今後、本日参加させていただいたNPOでは、月に1回程度、子育てや小児医療に関する情報提供を検討しております。差し支えなければ、メールアドレスをお教えいただければ幸いです。

参加者御氏名 _____ メールアドレス _____

※後日FAXでご返送いただいても構いません

FAX返送先 03-3277-3469 三菱総合研究所 進藤、吉池

子育てに関する意見交換・相談会へのご参加ありがとうございました。

本日お忙しい中ご参加ありがとうございました。

皆様のご意見などを参考に、今後も子育てに有益となる相談や情報提供などについて検討・実施していきたいと存じます。

最後に、ご参加した感想などをご回答いただけますようご協力をよろしくお願いいたします。

問1 本日の意見交換・相談会に関する感想を自由にご記入ください

①意見交換（前半1時間）について 環境の違いのお話はとても楽しかったです。もう少し人数が少なかった方が良かったかと思いました。
②小児科医を交えた相談会（後半30分）について 医師のDト、とてもゆっくり話せる機会だったのでゆっくりお話をうかがえて良かったです。
③開催場所・ベビーシッターサービス等について ベビーシッターサービスは初めて利用したのですが、遊び方法が色々あるので預けるにあたりとても気軽に預けられました。

問2 本日の会への参加に関する感想（あてはまる番号すべてに○をつけてください）

1 子育て中に外出する時間をつくるのが大変だった <input checked="" type="radio"/> 2 子どもを連れてきて預かってもらえるのはよかった <input checked="" type="radio"/> 3 小児科医に健康や医療などに関する相談できるのはよかった <input checked="" type="radio"/> 4 同じ子育て中のご両親たちとお話できるのはよかった <input checked="" type="radio"/> 5 医療のことだけでなく、子育てに関する種々のことで意見交換できるのはよかった <input type="radio"/> 6 特に良いことはなかった <input type="radio"/> 7 その他（ ）
--

問3 今後、小児医療や子育て支援を専門とするNPOが、子育てや小児医療に関する情報提供などを検討しております。どのような情報があったら利用したいと思われませんか。（あてはまる番号すべてに○をつけてください）

1 子育てに関する雑誌やホームページのサイトなどを整理して紹介してほしい 2 健康や医療などの質問に対する小児科医などの専門家の答え（Q&A）を紹介してほしい 4 同じ子育て中のご両親たちとの情報・意見交換の場（インターネット上）がほしい 5 特にない <input checked="" type="radio"/> 6 その他（小規模な（地域をこえた）情報を提供して欲しいとあり。1.2.4が合わなかったり必要はない）

今後、本日参加させていただいたNPOでは、月に1回程度、子育てや小児医療に関する情報提供を検討しております。差し支えなければ、メールアドレスをお教えいただければ幸いです。

参加者御氏名

メールのアドレス

※後日FAXでご返送いただいても構いません

FAX返送先 03-3277-3469 三菱総合研究所 進藤、吉池

子育てに関する意見交換・相談会へのご参加ありがとうございました。

本日お忙しい中ご参加ありがとうございました。

皆様のご意見などを参考に、今後も子育てに有益となる相談や情報提供などについて検討・実施していきたいと存じます。

最後に、ご参加した感想などをご回答いただけますようご協力をよろしくお願いいたします。

問1 本日の意見交換・相談会に関する感想を自由にご記入ください

①意見交換（前半1時間）について

子育てのママの方々の意見が聞けて良かったです。その子その子の性格があり、あまり心配もあるとはないかなあ〜と今思っています。

また参加したいと思います。

②小児科医を交えた相談会（後半30分）について

インフルエンザ等のお話が聞けて良かったです。予防接種来年からはタダの咳、鼻でも受けようと思います。

③開催場所・ベビーシッターサービス等について

子供が産まれるまでは良いと思います。

問2 本日の会への参加に関する感想（あてはまる番号すべてに○をつけてください）

- 1 子育て中に外出する時間をつくるのが大変だった
- 2 子どもを連れてきて預かってもらえるのはよかった
- 3 小児科医に健康や医療などに関する相談できるのはよかった
- 4 同じ子育て中のご両親たちとお話できるのはよかった
- 5 医療のことだけでなく、子育てに関する種々のことで意見交換できるのはよかった
- 6 特に良いことはなかった
- 7 その他（)

問3 今後、小児医療や子育て支援を専門とするNPOが、子育てや小児医療に関する情報提供などを検討しております。どのような情報があったら利用したいと思われますか。（あてはまる番号すべてに○をつけてください）

- 1 子育てに関する雑誌やホームページのサイトなどを整理して紹介してほしい
- 2 健康や医療などの質問に対する小児科医などの専門家の答え（Q&A）を紹介してほしい
- 4 同じ子育て中のご両親たちとの情報・意見交換の場（インターネット上）がほしい
- 5 特にない
- 6 その他（)

今後、本日参加させていただいたNPOでは、月に1回程度、子育てや小児医療に関する情報提供を検討しております。差し支えなければ、メールアドレスをお教えいただければ幸いです。

参加者御氏名 _____ メールアドレス _____

※後日FAXでご返送いただいても構いません

FAX返送先 03-3277-3469 三菱総合研究所 進藤、吉池

子育てに関する意見交換・相談会へのご参加ありがとうございました。

本日お忙しい中ご参加ありがとうございました。

皆様のご意見などを参考に、今後も子育てに有益となる相談や情報提供などについて検討・実施していきたいと存じます。

最後に、ご参加した感想などをご回答いただけますようご協力をよろしくお願いいたします。

問1 本日の意見交換・相談会についての感想を自由にご記入ください

<p>①意見交換（前半1時間）について</p> <p>・他の親さんの意見も他教聞けて有意義であった。</p> <p>・他地域の医療状況等聞けて有意義であった。</p>
<p>②小児科医を交えた相談会（後半30分）について</p> <p>・医師の立場で素人の疑問に答えて頂け参考になった。</p>
<p>③開催場所・ベビーシッターサービス等について</p> <p>・便利であった。</p>

問2 本日の会への参加についての感想（あてはまる番号すべてに○をつけてください）

<p>1 子育て中に外出する時間をつくるのが大変だった</p> <p>② ② 子どもを連れてきて預かってもらえるのはよかった</p> <p>③ ③ 小児科医に健康や医療などに関する相談できるのはよかった</p> <p>④ ④ 同じ子育て中のご両親たちとお話できるのはよかった</p> <p>⑤ ⑤ 医療のことだけでなく、子育てに関する種々のことで意見交換できるのはよかった</p> <p>6 ⑥ 特に良いことはなかった</p> <p>⑦ ⑦ その他（他のお母さんの意見を聞いて役に立った。）</p>

問3 今後、小児医療や子育て支援を専門とするNPOが、子育てや小児医療に関する情報提供などを検討しております。どのような情報があったら利用したいと思われませんか。（あてはまる番号すべてに○をつけてください）

<p>① ① 子育てに関する雑誌やホームページのサイトなどを整理して紹介してほしい</p> <p>② ② 健康や医療などの質問に対する小児科医などの専門家の答え（Q&A）を紹介してほしい</p> <p>④ ④ 同じ子育て中のご両親たちとの情報・意見交換の場（インターネット上）がほしい</p> <p>5 ⑤ 特にない</p> <p>6 ⑥ その他（ ）</p>
--

今後、本日参加させていただいたNPOでは、月に1回程度、子育てや小児医療に関する情報提供を検討しております。差し支えなければ、メールアドレスをお教えいただければ幸いです。

参加者御氏名 _____ メールアドレス _____

※後日FAXでご返送いただいても構いません

FAX返送先 03-3277-3469 三菱総合研究所 進藤、吉池

子育てに関する意見交換・相談会へのご参加ありがとうございました。

本日お忙しい中ご参加ありがとうございました。

皆様のご意見などを参考に、今後も子育てに有益となる相談や情報提供などについて検討・実施していきたく存じます。

最後に、ご参加した感想などをご回答いただけますようご協力をよろしくお願いいたします。

問1 本日の意見交換・相談会に関する感想を自由にご記入ください

①意見交換（前半1時間）について 地域のちがう（東京）市の状況が伺えて良かった。 基本的には共通する質問や悩みを聞いてもらっていいと思う。
②小児科医を交えた相談会（後半30分）について 薬のことは、音程に合わせて詳しく伺うことができてよかった。役に立ちました。
③開催場所・ベビーシッターサービス等について 遠かったですが、子どもが楽しく過ごせそうな場所でした。ありがとうございました。

問2 本日の会への参加に関する感想（あてはまる番号すべてに○をつけてください）

1 子育て中に外出する時間をつくるのが大変だった <input checked="" type="radio"/> 2 子どもを連れてきて預かってもらえるのはよかった <input checked="" type="radio"/> 3 小児科医に健康や医療などに関する相談できるのはよかった <input checked="" type="radio"/> 4 同じ子育て中のご両親たちとお話できるのはよかった 5 医療のことだけでなく、子育てに関する種々のことで意見交換できるのはよかった 6 特に良いことはなかった 7 その他 ()
--

問3 今後、小児医療や子育て支援を専門とするNPOが、子育てや小児医療に関する情報提供などを検討しております。どのような情報があったら利用したいと思われませんか。（あてはまる番号すべてに○をつけてください）

1 子育てに関する雑誌やホームページのサイトなどを整理して紹介してほしい <input checked="" type="radio"/> 2 健康や医療などの質問に対する小児科医などの専門家の答え（Q&A）を紹介してほしい 4 同じ子育て中のご両親たちとの情報・意見交換の場（インターネット上）がほしい 5 特にない 6 その他（病気の不安が心配なことを、全額無料など有料でもいいので） X-117などで相談できる仕組み
--

今後、本日参加させていただいたNPOでは、月に1回程度、子育てや小児医療に関する情報提供を検討しております。差し支えなければ、メールアドレスをお教えいただければ幸いです。

参加者御氏名 _____ メールアドレス _____

※後日FAXでご返送いただいても構いません

FAX返送先 03-3277-3469 三菱総合研究所 進藤、吉池

子育てに関する意見交換・相談会へのご参加ありがとうございました。

本日お忙しい中ご参加ありがとうございました。

皆様のご意見などを参考に、今後も子育てに有益となる相談や情報提供などについて検討・実施していきたいと存じます。

最後に、ご参加した感想などをご回答いただけますようご協力をよろしくお願いいたします。

問1 本日の意見交換・相談会についての感想を自由にご記入ください

①意見交換（前半1時間）について

色々な意見が聞く事ができ楽しかったです。
たまたま、どういった意見を求められているのか（医療士としてのみなのかどうか）がハッキリ解らずに、
いつも判別が。対司会者の方だけでなく参加者同士でも意見を言い合えたので
少し嬉しい意見が聞けました。

②小児科医を交えた相談会（後半30分）について

抗生物質の使い方や、新薬と昔からの薬の価格の推移など、裏話？的な話も聞けました。おもしろかったです。

30分という時間は少し短いかも…。

③開催場所・ベビーシッターサービス等について

子供を安心して見ておける、子供自身も、とても楽しかった様子で、とても良い開催場所だと思いました。子供もママもシッターさんも、牛乳で安心でした。

問2 本日の会への参加についての感想（あてはまる番号すべてに○をつけてください）

- 1 子育て中に外出する時間をつくるのが大変だった
- 2 子どもを連れてきて預かってもらえるのはよかった
- 3 小児科医に健康や医療などに関する相談できるのはよかった
- 4 同じ子育て中のご両親たちとお話できるのはよかった
- 5 医療のことだけでなく、子育てに関する種々のことで意見交換できるのはよかった
- 6 特に良いことはなかった
- 7 その他（楽しかったです。）

問3 今後、小児医療や子育て支援を専門とする NPO が、子育てや小児医療に関する情報提供などを検討しております。どのような情報があったら利用したいと思われませんか。（あてはまる番号すべてに○をつけてください）

- 1 子育てに関する雑誌やホームページのサイトなどを整理して紹介してほしい
- 2 健康や医療などの質問に対する小児科医などの専門家の答え（Q&A）を紹介してほしい
- 4 同じ子育て中のご両親たちとの情報・意見交換の場（インターネット上）がほしい
- 5 特にない
- 6 その他（

今後、本日参加させていただいた NPO では、月に1回程度、子育てや小児医療に関する情報提供を検討しております。差し支えなければ、メールアドレスをお教えいただければ幸いです。

参加者御氏名 _____ メールアドレス _____

※後日 FAX でご返送いただいても構いません

FAX 返送先 03-3277-3469 三菱総合研究所 進藤、吉池

子育てに関する意見交換・相談会へのご参加ありがとうございました。

本日お忙しい中ご参加ありがとうございました。

皆様のご意見などを参考に、今後も子育てに有益となる相談や情報提供などについて検討・実施していきたいと存じます。

最後に、ご参加した感想などをご回答いただけますようご協力をよろしくお願いいたします。

問1 本日の意見交換・相談会に関しての感想を自由にご記入ください

①意見交換（前半1時間）について

緊張はしていないもあって、あまり意見交換はできず残念に思います。
興味深いお話もありましたが、もう少し本格的な病気の話、しつけの話、
食事の話などでできたら良かったと思います。

②小児科医を交えた相談会（後半30分）について

現在、心配していることや疑問に思っていることがたくさんあり、
先生のお話を聞いて納得することができて良かったです。

③開催場所・ベビーシッターサービス等について

自宅から遠くで、往復は少し大変でした。
保育については、子供が楽しんでいるので良かったです。

問2 本日の会への参加に関しての感想（あてはまる番号すべてに○をつけてください）

- 1 子育て中に外出する時間をつくるのが大変だった
- 2 子どもを連れてきて預かってもらえるのはよかった
- 3 小児科医に健康や医療などに関する相談できるのはよかった
- 4 同じ子育て中のご両親たちとお話できるのはよかった
- 5 医療のことだけでなく、子育てに関する種々のことで意見交換できるのはよかった
- 6 特に良いことはなかった
- 7 その他（ ）

問3 今後、小児医療や子育て支援を専門とするNPOが、子育てや小児医療に関する情報提供などを検討しております。どのような情報があったら利用したいと思われますか。（あてはまる番号すべてに○をつけてください）

- 1 子育てに関する雑誌やホームページのサイトなどを整理して紹介してほしい
- 2 健康や医療などの質問に対する小児科医などの専門家の答え（Q&A）を紹介してほしい
- 4 同じ子育て中のご両親たちとの情報・意見交換の場（インターネット上）がほしい
- 5 特にない
- 6 その他（地域の情報（医療機関、利用しやすい施設や店など）、公園、サークルなどの情報）

今後、本日参加させていただいたNPOでは、月に1回程度、子育てや小児医療に関する情報提供を検討しております。差し支えなければ、メールアドレスをお教えいただければ幸いです。

参加者御氏名 _____

メールのアドレス _____

※後日FAXでご返送いただいても構いません

FAX返送先 03-3277-3469 三菱総合研究所 進藤、吉池